

立町綿の湯ご神湯かけ流し事業

申請内容

財産区及び下諏訪町のご支援により温泉本管から八ヶ所に配管していただき、協議会会員の手によって竹筒で樋、笥などを製作し、受け皿となる石臼、鉢などを置いた経過がある。

神話にもなっている“綿の湯”は中山道立町の200m八ヶ所にかけて流されている。この200mをブランド、シンボルゾーンとして名所にしたい。具体的には、竹樋、笥の取替・修復とPRポスターを製作したい。



古くなった竹樋、笥を修復しました